

別記様式第 2 - 8 号

オーガニック・エコ農産物安定供給体制構築事業のうち  
 全国推進事業（生産・実需情報共有・調整システム構築支援事業）に関する事業評価  
 票

事業実施主体名		次代の農と食をつくる会
事業の概要		オーガニック・エコ農産物の安定供給体制の構築を目標としたポータルサイト farm0 を開発・運用し、生産者・実需者のマッチング、情報の共有支援などによってオーガニックの流通を広げる
成果目標の 具体的内容		<p>オーガニック・エコ農産物の生産者と実需者の需給マッチングおよび、おもに生産者間の情報交換や情報発信を目的としたポータルサイトを構築し、オンライン上でのマッチングや情報交換を促進する。</p> <p>ポータルサイトは、生産者と実需者とをつなげることを目的としたオンライン上のプラットフォームとして機能し、生産者が自ら情報を掲載して、実需者がみつけ、引き合いをし、またコーディネーターが連携していく仕組みを提供することによって、商談件数の増加、オーガニック・エコ農産物の流通の増加を図っていく。</p> <p>H30 年度目標                  商談件数 600 件                  コーディネーター登録件数 33 件</p>
成果目標の 達成状況	基準年 (平成 28 年)	商談件数： 0 コーディネーター登録件数： 0
	目標年 (平成 31 年 3 月)	商談件数： 730 コーディネーター登録件数： 34 名
	目標値	商談件数： 600 コーディネーター登録件数： 33 名
	達成率	商談件数： 121% コーディネーター登録件数： 103%
生産局長の意見		商談件数、コーディネーター登録件数について、いずれも成果目標を達成。

別記様式第2-8号

オーガニック・エコ農産物安定供給体制構築事業のうち  
 全国推進事業（消費者・実需者等理解増進活動支援事業）に関する事業評価票

事業実施主体名		一般社団法人 次代の農と食をつくる会
事業の概要		オーガニックビジネス実践拠点の販路拡大に資する取組を行うことで、新たなビジネス展開を促進するとともに、ターゲットを見据えた効果的な取組を展開することにより、消費者や実需者等とオーガニック・エコ農業の価値を共創し、価値を醸成する環境を整備する。
成果目標の 具体的内容		(1) 商談会の開催 (2) 消費者向けシンポジウム等の開催 (3) 実需者向け講習会の実施
成果 目標 の 達成 状況	基準年 (平成 年)	平成 30 年
	目標年 (平成 年)	平成 30 年
	目標値	(1) 商談会における商談件数 130 件以上 (2) 商談会に参加した実需者数 240 人以上 (3) シンポジウム等への参加者 500 人以上
	達成率	(1) 商談会における商談件数 135 件 (104%) (2) 商談会に参加した実需者数 1045 人 (435%) (3) シンポジウム等への参加者 3993 人 (799%)
生産局長の意見		商談会における商談件数、実需者数、シンポジウム等への参加者について、いずれも成果目標を達成。

別記様式第 2 - 8 号

オーガニック・エコ農産物安定供給体制構築事業のうち  
全国推進事業（新規参入・定着促進支援事業）に関する事業評価票

事業実施主体名		一般社団法人日本有機農業普及協会
事業の概要		有機農業への新規参入及び慣行栽培等からの転換参入の促進並びに参入後の定着を図るため、新規参入・転換者が円滑に参入し、経営を維持・発展すること等により、有機農業に定着できるような環境を整備する。
成果目標の 具体的内容		研修受け入れ農家向け研修会の参加人数 150 人以上及び実施回数 5 回以上
成果 目標 の 達成 状況	基準年	—
	目標年 (平成 30 年)	研修受け入れ農家向け研修会の実施回数：10 回 研修受け入れ農家向け研修会の参加者数：807 名
	目標値	研修受け入れ農家向け研修会の実施回数：5 回以上 研修受け入れ農家向け研修会の参加者数：150 名以上
	達成率	研修受け入れ農家向け研修会の実施回数：200% 研修受け入れ農家向け研修会の参加者数：538%
生産局長の意見		研修受け入れ農家向け研修会の実施回数及び参加者数について、成果目標を達成。

別記様式第 2 - 8 号

オーガニック・エコ農産物安定供給体制構築事業のうち  
 全国推進事業（オーガニックプロデューサー派遣事業）に関する事業評価票

事業実施主体名		オーガニック・エコ農産物物流協議会
事業の概要		オーガニックビジネス実践拠点（以下「実践拠点」という。）等に対し、オーガニックプロデューサーを派遣すること等により、有機農業者等の販路構築や有機農業技術の指導に係る支援を行いオーガニック農産物のビジネス展開を促進する。
成果目標の具体的内容		<p>(1) オーガニックプロデューサー1名あたり、実践拠点以外の有機農業者等への販路構築や有機農業技術の指導に係る支援件数を平均5件以上とすること。</p> <p>(2) 実践拠点における有機農業の取組面積を事業実施年度の前年度と比しておおむね110%以上又はおおむね15ha以上とすること。（令和3年度まで）</p>
成果目標の達成状況	基準年 (平成30年)	<p>(1) -</p> <p>(2) 447.7ha（オーガニックプロデューサーを派遣した11実践拠点の取組面積の合計）</p>
	目標年 (平成30年) (令和3年)	<p>(1) 実践拠点以外の全国の生産者・自治体・流通関係者へのプロデューサー活動を広報した件数 80件</p> <p>(2) -</p>
	目標値	<p>(1) 50件（5件×オーガニックプロデューサー10名）</p> <p>(2) 実践拠点における有機農業の取組面積110%（令和3年度）</p>
	達成率	<p>(1) 160%</p> <p>(2) -</p>
生産局長の意見		実践拠点以外の有機農業者等に対し本事業におけるプロデューサー活動を広報した件数について、成果目標を達成。